

回覧、ほうせん

太田市立宝泉中学校
学校通信 第4号
発行責任者 添田 良之

宝泉中GIGAスクール構想スタート

「主体的に学ぶとともに、自らの考えを伝えたり、他者の考えを理解したりする協働的な学びを通して、新たな価値を見いだしたり、問題を解決しようとしたりする子ども」をICT教育によって目指す太田市のGIGAスクール構想がスタートしました。生徒1人1台の学習用端末を持って、文房具同様に活用しながら学習を進めていきます。この活用により、



一斉の学習や個に応じた個別学習、自分の考えをわかりやすく提示して発表や話し合いを行う協働学習もできることを目指しています。

左のような充電保管庫が各クラスに整備されました。こちらに収納し、施錠しています。現在は、授業で必要などに取り出して活用しています。教科によってはすでに使用を開始しています。また、「eライブラリ」というAI型ドリルの活用も始めています。状況が整えば、家庭に持ち帰って学習することも可能になります。生徒たちが使い方に慣れて、学習に役立てられるように、少しずつ取組を進めていきます。

食育指導を行っています

現在、給食時に栄養士が教室を訪問して食育指導を行っています。1年生では「朝食について」、2年生では「栄養素の種類と働き」、3年生では「スポーツのための効果的な食事」、6・7組では「夏野菜について」とそれぞれ違うテーマについての指導を行っています。



3年生の指導の中で示された内容はスポーツをする人に限らず、暑い夏をむかえる今、大切なことです。

試合前日に大切なこと

- 1 寝る3時間前には食べる
- 2 脂っこいものは控えめに
- 3 主食はしっかりと⇒炭水化物はエネルギー源
- 4 生ものは食べない

とにかく一番大切なのは、毎日の食事をしっかりとることです！

試合当日に大切なこと

- 1 朝ご飯は試合の3～4時間前までに！
- 2 腹八分目！
- 3 主食はしっかりと！
- 4 ヨーグルトはおすすめ！



少年の主張太田市大会～優秀賞受賞～

少年の主張太田市大会が6月26日土曜日、太田市藪塚本町文化ホール（カルトピア）で各校の代表1名が参加して行われました。

本校からは3年生が宝泉中学校代表として参加しました。演題は「生きやすい世界へ」です。概要は以下の通りです

自分が自分らしくいられない生きづらさ、周りの目を気にして自分の意見とは違う意見を言ったり、なにか言われるのが怖くて何もできなかつたりして気持ちがふさぎ込んでしまいます。そんな生きづらさの原因は人それぞれですが、その中に「普通」という概念に苦しんでいる人がます。女はおしとやかに男はたくましくといった固定観念に苦しんでいる人もます。すべての人が生きやすい世界にするために、差別的な普通の概念がなくなればいいと思います。何も変わらなければ生きづらさで苦しむ人々はこれからも増え続けるでしょう。私はそんな苦しむ人達を救うために行動します。そして、1人でも多くの人が前を向いて生きていけるようにしていきたいです。



紙面では伝えきれない素晴らしい主張が行われ、会場の人々を感動の渦に巻き込みました。そして、見事「優秀賞」を受賞しました。今度は太田市の代表として、8月21日に行われる少年の主張東毛地区大会に出場します。生徒の皆さんにはいずみ祭のときに、この主張を学習用端末を通してご覧頂きます。

情報モラル講習会が行われました

6月2日水曜日の午後、KDDIより情報・モラル認定講師をお招きして情報モラル講習会を生徒指導部とPTA教養部の共催で実施しました。パソコンやスマホ、タブレットなどの情報機器に生徒が触れる機会は少なくありません。そんな情報社会を生きるために必要な態度や考え方を学習することを目的に行いました。



インターネットの世界には安全はないこと、SNSによる子どもの被害が年々増加していること、オンラインゲームの危険性などについて映像を交えながらわかりやすく説明していただきました。

SNS上の誹謗中傷が名誉毀損罪や侮辱罪となり損害賠償の対象となること、スマホ依存症（ゲーム依存・ネット依存）は薬物依存やアルコール依存同様にWHOで認められた病気であること、スマホ依存による脳疲労は15年後の認知症につながるおそれがあること等もわかりました。

自分と家族の脳を守るためには、睡眠の1時間前には電子機器を見ることをやめることが大切だと生徒たちに伝えられました。

お子さんの心と体をネットの危険から守るため、お子さんを被害者にも加害者にもしないために、ご家庭でもスマホ等の使い方についてお話しいただけるようお願いいたします。